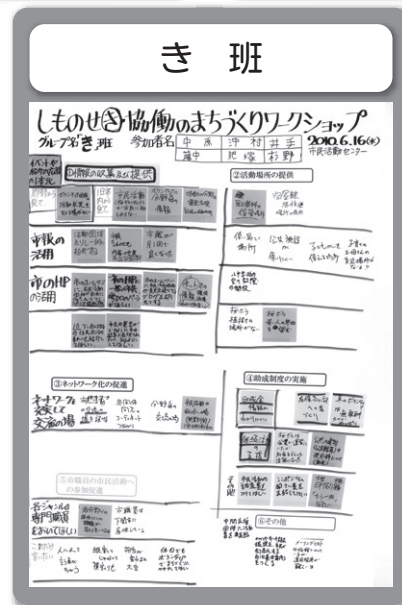
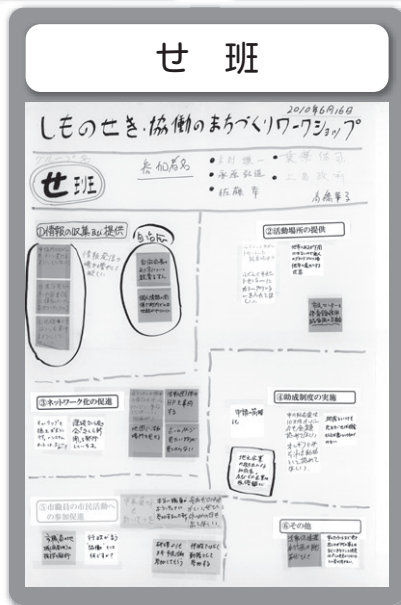
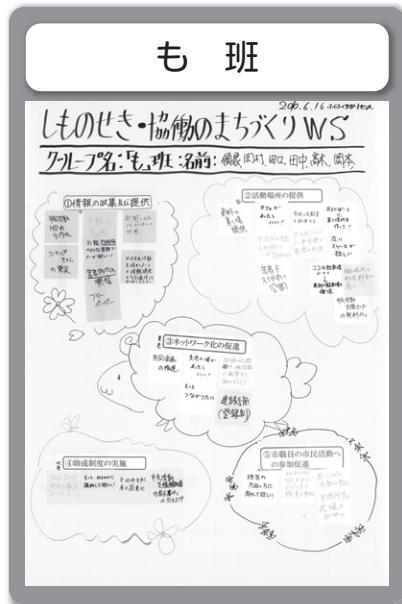
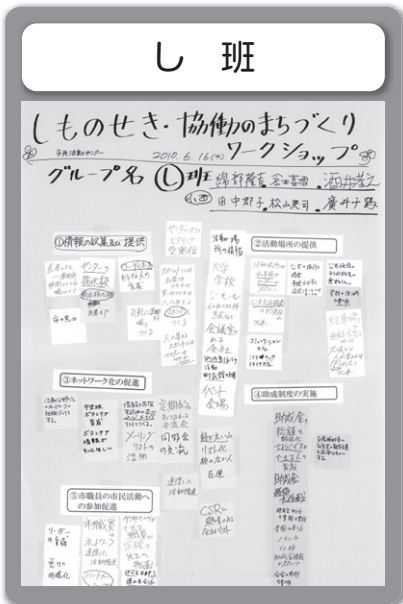


8 ワークショップの記録

(1) 第1回ワークショップ

第1回ワークショップでは、「し・も・の・せ・き」の5グループに分かれて、「市民活動を行う際に、下関市がどのような環境であったら活動しやすいのか、活動のために、どのような市の支援策が必要なのか」について、それぞれの立場で自由なご意見を出し合い、その意見はどの項目に該当するのか、次の6項目に分類して発表していただきました。

- | | |
|--------------|------------------|
| ① 情報の収集及び提供 | ④ 助成制度の実施 |
| ② 活動の場の提供 | ⑤ 市職員の市民活動への参加促進 |
| ③ ネットワーク化の促進 | ⑥ その他 |



■第1回プログラム

概 要	時 間	備 考
1. はじめのあいさつ	18:00～	全体
2. ワークショップをはじめよう！ ○ワークショップって？ ○スタッフ紹介 ○本日のプログラム紹介 ○みんなで心あわせ（アイスブレイク） ○グループに分かれよう	18:05～	全体
3. 市民活動及び基本計画の説明	18:25～	グループ
4. グループで話し合ってみよう！ ○市民活動の促進に必要なことやアイデアを出し合おう！ ○出た意見をまとめてみよう！ ①市民活動を促進する情報の収集・提供 ②市民活動の場の提供 ③ネットワーク化の促進 ④助成制度 ⑤市職員の市民活動への参加促進 ⑥その他	18:35～	グループ
5. みんなで発表しあおう！	19:35～	全体
6. わかちあいとふりかえり	19:50～	全体
7. おわりのあいさつ	19:55～	全体

第1回ワークショップ風景



(2) 第2回ワークショップ

第2回ワークショップでは、5つの大項目の項目ごとにグループに分かれ、第1回でいただいた意見をまとめた「意見整理一覧」を参考に、参加者に行政の視点で、中項目・小項目を削除・分類し、発表していただきました。

行政の視点で意見を整理する際の注意点

- ①第1回のワークショップの意見を反映した項目とします。
- ②個別的な単なる要望は対象とせず、市の市民活動全体に関する支援への意見を対象とします。
- ③行政の役割は、市民活動団体が活動しやすい環境の整備です。
- ④市職員の市民活動への参加促進については、市職員も市民の一員であるとの視点で市民活動に参加しやすい環境づくりに必要な項目とします。

1 情報の収集及び提供

情報の収集及び提供
2010.07.07 ① (松本) グループ
畔本 岡村 廣瀬 田口 金子

① 市報を活用した情報発信
市報「元来」⇒「家」⇒「知」
市報「元来」⇒「知」
市報「元来」⇒「知」

② 1-①-②
① 市報・内報
・市民活動情報コーナー
・交流の場づくり
・市民活動情報コーナー
② 市報・内報活用
・市民活動情報コーナー
・交流の場づくり

③ 市報を活用した情報発信
市報「元来」⇒「知」
市報「元来」⇒「知」

④ 市民活動の推進
市民活動の推進
市民活動の推進

2 活動の場の提供

② 活動場所の提供
参加者名 末村 岩倉 藤田 栗本 松山 松本 松山 松本
2010年7/6(水) 市民活動部

① 市民活動センター
市民活動センター
市民活動センター

② 市民活動センター
市民活動センター
市民活動センター

③ 市民活動センター
市民活動センター
市民活動センター

④ 市民活動センター
市民活動センター
市民活動センター

3 ネットワーク化の促進

③ ネットワーク化の促進
参加者名/ 橋本 栗本 秋本 倉本 酒井 杉野
2010.7.6(水) 市民活動部

① ボランティアネットワークシステムの整備
ボランティア情報が必要
ボランティア情報が必要
ボランティア情報が必要

② 市民活動団体間のネットワークの構築推進
① ネットワークの活用
② ネットワークの活用
③ ネットワークの活用

③ 協働コーディネーターの育成
協働コーディネーターの育成
協働コーディネーターの育成

④ 自治体等連携による市民活動の推進
自治体等連携による市民活動の推進
自治体等連携による市民活動の推進

⑤ 中間支援団体の育成
中間支援団体の育成
中間支援団体の育成

4 助成制度

④ 助成制度の実施
2010.7.7 小西 氏名 高木 田中
田本 田中

金額(★) 4-1-1 用途
○ 雑持 10万-50万
○ 飲食にコト 上乗せ補助
○ 市民活動に活用

プロセス
① 簡略化(様式) ② 審査項目見直し
③ 書き方を説明 4-5-1

5 市職員の市民活動参加促進

⑤ 市職員の市民活動参加促進
グループ氏名 坂井 木村 栗本 栗田 中本 高木
2010.7.7(水) 市民活動部

① 市職員の市民活動参加促進
市職員の市民活動参加促進
市職員の市民活動参加促進

② 市職員の市民活動参加促進
市職員の市民活動参加促進
市職員の市民活動参加促進

■第2回プログラム

概 要	時 間	備 考
1. はじめのあいさつ	18:00～	全体
2. ワークショップをはじめよう！ ○なぜコミュニケーションが必要なの？ ○スタッフ紹介 ○本日のプログラム紹介 ○みんなで心あわせ（アイスブレイク・もしも私が○○なら…） ○グループに分かれよう	18:05～	全体
3. 第1回「みんなの意見整理一覧」の報告	18:30～	グループ
4. グループで話し合ってみよう！（活かす・変える・加える） ○「5つの基本大項目」ごとに分かれ、市民の視点をもつ行政として考えてみよう！ ①情報の収集及び提供グループ ②活動場所の提供グループ ③ネットワーク化の促進グループ ④助成制度の実施グループ ⑤市職員の市民活動への参加促進グループ ○出た意見をまとめてみよう！	18:35～	グループ
5. みんなで発表しあおう！	19:35～	全体
6. わかちあいとふりかえり	19:50～	全体
7. おわりのあいさつ	19:55～	全体

第2回ワークショップ風景



(3) 第3回ワークショップ

ワークショップ最終回となる、第3回ワークショップでは、第2回の結果をまとめた「意見検討資料」を事前に完成させていただき、当日は、作成した項目ごとに施策展開の方向のどの部分に該当するのか、グループで検討し、発表していただきました。

「意見検討資料」の「対象」・「経費」・「注意点」欄については、行政側が事前に記入し、ワークショップ参加者は「費用対効果欄」、「優先度欄」、「修正案欄」に意見を記入しました。

意見検討資料の完成については、以下の手順で行いました。

- ① 「対象」、「経費」欄を参考に、「費用対効果欄」に『◎、○、△、×』を記入
- ② 「費用対効果」、「注意点」欄を参考に「優先度」欄に『◎、○、△、×』を記入
- ③ 上記①、②の結果から、項目に修正が必要な場合は、「修正案」欄に項目を修正したものを記入

■意見検討資料 記入例

項目名	対象	経費	費用対効果	注意点	優先度	修正案
市民活動の広報紙を作成し、全市民に	① ② ③	約3,000万円	△	予算増額が必要	△	現在の市報に活動のページを
ハンドブック等情報提供冊子の活用	② ③	通常予算	◎		◎	
企業の市民活動への参加促進	① ② ③	—	◎	企業の活動への理解が必要	○	
口頭による施設利用申請を可能に	③	通常予算	◎	本人証明が困難なため責任の所在が不明瞭	△	電話による仮予約後、数日以内に本申請
活動センターと同等の施設を設置	② ③	1施設あたり 施設改修費 約5,000万円 運営経費 約800万円	△	予算増額が必要情報の共有ができていれば、拠点施設は1箇所とし、サテライトとしての活動場所がある方が効率的	△	

※「対象」欄 ①＝市民活動に興味のない人、知らない人、②＝市民活動に興味のある人、
③＝市民活動を積極的にしている人

※「経費」欄 経費は人件費を除いた概算額です。

■第3回プログラム

概 要	時 間	備 考
1. はじめのあいさつ	18:00～	全体
2. ワークショップをはじめよう！ ○第2回と同じグループで集まろう！ ○本日のプログラム紹介 ○みんなで心あわせ（アイスブレイク・何が大切？優先順位シミュレーション）	18:05～	全体
3. 第2回「5つの基本大項目ごとのまとめ」の報告	18:15～	全体
4. グループでまとめてみよう！ ○「5つの基本大項目」ごとに分かれ、施策展開の方向を完成させよう！ ①情報の収集及び提供グループ ②活動場所の提供グループ ③ネットワーク化の促進グループ ④助成制度の実施グループ ⑤市職員の市民活動への参加促進グループ ○完成した施策展開の方向を発表しよう！	18:20～	グループ
5. みんなで全体をチェックしよう！ ○新・施策展開の方向を全体的にチェックして意見交換しよう！ ○みんなで最終決定しよう！	19:20～	全体
6. わかちあいとふりかえり	19:45～	全体
7. おわりのあいさつ	19:55～	全体

第3回ワークショップ風景



■ 「市民活動を促進する情報の収集及び提供」グループの結果（文章）

（1）多様な広報媒体を活用した市民活動情報の発信

- ① 市報を活用した情報発信
街の元気！⇒家に居ながら⇒知る
市報の中に市民活動のページを1ページ
- ② しものせき市民活動センター発行の「ふくふくサポートだより」を活用した情報発信
回覧板、紙面の工夫、いろんな所で同時進行
- ③ 下関市ホームページを活用した情報発信
どれだけ重きをおくか？
HPの活用度は？実態調査
- ④ コミュニティFM等報道機関を活用した情報発信

収集の方法が
ぬけている

みんなでやろうよ
みんなのまちだから

（2）市民活動の理解と参加へのきっかけづくり

- ① 公開活動成果発表会の開催
発表会はやってもなかなか参加者がいない
ボランティア活動団体へ市が〇〇賞（まちづくり大賞）を贈る
会報のコンテストを！ 感心のアンテナ
- ② 生涯学習講座、セミナー、シンポジウム等の学習機会の提供
こういう場所がもっと欲しい
- ③ 学校等と連携した市民活動学習への参加
市民活動を学校でおひろめ課外！！
教育委員会、公民館との連携

（3）市民活動支援機関等との連携・情報共有

- ① やまぐち県民活動支援センター、他県機関との連携・情報共有
- ② 他市市民活動支援センター等との連携・情報共有
- ③ 下関市社会福祉協議会（福祉ボランティア部門）との連携・情報共有
自治会単位で「まちづくり委員」、そこに住む人が活動 ※まずは地元で

（4）市民活動に関するニーズの把握

- ① 市民及び市民活動団体に対する定期的なアンケートの実施
- ② 施設利用者からの定期的な意見聴取や日常業務における利用者ニーズの把握
情報提供！！
モニター募集
市民文化課はニーズを分析して振り分ける
活動家の把握と紹介
コーディネートする人の必要性

市民文化課の
ありかた